

# つばき



第72号

発行日 2018年7月25日

発行者 社会福祉法人 椿福社会

〒538-0031 大阪市鶴見区茨田大宮 2-2-25

TEL (06) 6911-1002 fax (06) 6911-1006

HP <http://tsubaki-fukushikai.com/>

## 2018年度第1回理事会（2017年度事業報告）報告

2018年5月28日午前10時よりつるみの郷地域交流ホールにおいて、今年度の第1回理事会が開催され、2017年度の事業報告が承認されました。

椿福社会では、2016年の社会福祉法の改正により、評議員会と理事会の権限が明確になったことを受けて、施設の管理者を中心とした役員体制で業務執行を行ってきました。

事業報告のなかで、4月から職員の役割りと責任に応じた新たな給与規程を適用したこと、つるみの郷では開所以来15年が経過して、傷みが目立ってきた利用者居室の補修工事を行い生活環境の整備に努めたこと、つるみ更生指導所も建築以来25年となるので外壁工事や屋上の防水塗装工事を行ったことなどが報告されました。

また、今後の課題として老朽化が目立ってきたグループホームの整備についても議論され、利用者の高齢化、身体機能の低下を考慮して、バリアフリー化を視野に入れたグループホームの整備に取り組むことが確認されました。

さらに、人材の確保・育成についても議論し、特に若年層の人材を確保していくために高校新卒者の採用に取り組み、同時に採用者の福祉関係資格の取得支援制度の充実をはかってきました。

社会福祉法人 椿福社会



### 第72号 もくじ

- 1頁 2017年度事業報告
- 2頁～4頁 2017年度決算書・決算報告
- 5頁～6頁 部会の方針（広報部会・危機管理部会・研修部会・安全防災部会）
- 7頁 合同運動会
- 8頁 広報部員紹介・寄付物品等御礼・後記



2017年度 決算報告

2017年度は、サービス活動の収益が前年度にくらべ約1700万円の減額となりました。これは、介護保険事業の廃止、人員配置加算の減収、利用者の減少が大きな要因です。費用の特徴としては、つるみの郷が開所し16年が経過し償却が終了した資産が増え、減価償却費が約1300万円減少しています。また、今年度は社会福祉充実残額は生じませんでした。

## 事業活動計算書

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

(単位:円)

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	収益				
	介護保険事業収益	2,648,104	4,962,536	△2,314,432	
	就労支援事業収益	2,063,440	2,568,832	△505,392	
	障害福祉サービス等事業収益	552,858,630	568,677,100	△15,818,470	
	経常経費寄附金収益	1,969,154	703,000	1,266,154	
	サービス活動収益計(1)	559,539,328	576,911,468	△17,372,140	
	費用				
	人件費	396,328,000	393,475,427	2,852,573	
	事業費	71,933,316	72,774,474	△841,158	
	事務費	60,202,355	59,012,825	1,189,530	
	就労支援事業費用	4,118,934	4,623,760	△504,826	
	減価償却費	32,017,597	45,014,370	△12,996,773	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△16,221,608	△25,166,620	8,945,012	
	サービス活動費用計(2)	548,378,594	549,734,236	△1,355,642	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	11,160,734	27,177,232	△16,016,498		
サービス活動外増減の部	収益				
	受取利息配当金収益	277,238	450,577	△173,339	
	その他のサービス活動外収益	6,731,259	7,658,190	△926,931	
	サービス活動外収益計(4)	7,008,497	8,108,767	△1,100,270	
	費用				
	支払利息	1,068,431	1,257,558	△189,127	
その他のサービス活動外費用	136,680	638,166	△501,486		
サービス活動外費用計(5)	1,205,111	1,895,724	△690,613		
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	5,803,386	6,213,043	△409,657		
経常増減差額(7)=(3)+(6)	16,964,120	33,390,275	△16,426,155		
特別増減の部	収益				
	施設整備等補助金収益	1,512,000		1,512,000	
	その他の特別収益	9,899,333	11,525,507	△1,626,174	
	特別収益計(8)	11,411,333	11,525,507	△114,174	
	費用				
	固定資産売却損・処分損	79,281	323,904	△244,623	
国庫補助金等特別積立金積立額	1,239,000		1,239,000		
特別費用計(9)	1,318,281	323,904	994,377		
特別増減差額(10)=(8)-(9)	10,093,052	11,201,603	△1,108,551		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	27,057,172	44,591,878	△17,534,706		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	514,016,444	454,624,566	59,391,878	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	541,073,616	499,216,444	41,857,172	
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)	3,000,000	74,800,000	△71,800,000	
	その他の積立金積立額(16)	31,000,000	60,000,000	△29,000,000	
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	513,073,616	514,016,444	△942,828		

# 資金収支計算書

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

(単位:円)

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	3,841,000	2,648,104	1,192,896	
	就労支援事業収入	2,586,000	2,063,440	522,560	
	障害福祉サービス等事業収入	585,365,000	552,858,630	32,506,370	
	経常経費寄附金収入	450,000	1,969,154	△1,519,154	
	受取利息配当金収入	144,000	277,238	△133,238	
	その他の収入	6,855,000	6,585,942	269,058	
	事業活動収入計(1)	599,241,000	566,402,508	32,838,492	
	支出				
	人件費支出	386,805,000	383,307,587	3,497,413	
事業費支出	77,233,000	71,933,316	5,299,684		
事務費支出	74,053,000	60,202,355	13,850,645		
就労支援事業支出	5,118,000	4,118,934	999,066		
支払利息支出	1,478,000	1,068,431	409,569		
その他の支出	404,000		404,000		
事業活動支出計(2)	545,091,000	520,630,623	24,460,377		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	54,150,000	45,771,885	8,378,115		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入		1,512,000	△1,512,000	
	固定資産売却収入		497,250	△497,250	
	施設整備等収入計(4)		2,009,250	△2,009,250	
	支出				
設備資金借入金元金償還支出	13,328,000	13,328,000			
固定資産取得支出		1,097,316	△1,097,316		
ファイナンス・リース債務の返済支出		1,406,160	△1,406,160		
施設整備等支出計(5)	13,328,000	15,831,476	△2,503,476		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△13,328,000	△13,822,226	494,226		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	3,000,000	3,000,000		
	その他の活動収入計(7)	3,000,000	3,000,000		
	支出				
	積立資産支出	35,000,000	33,122,880	1,877,120	
その他の活動支出計(8)	35,000,000	33,122,880	1,877,120		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△32,000,000	△30,122,880	△1,877,120		
予備費支出(10)	8,822,000		8,822,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		1,826,779	△1,826,779		
前期末支払資金残高(12)		331,987,118	△331,987,118		
当期末支払資金残高(11)+(12)		333,813,897	△333,813,897		

# 貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	369,588,719	379,920,222	△10,331,503	流動負債	56,900,982	68,558,597	△11,657,615
現金預金	260,643,883	257,893,955	2,749,928	事業未払金	6,982,434	15,781,822	△8,799,388
事業未収金	88,354,020	92,554,891	△4,200,871	その他の未払金	19,984,649	30,570,161	△10,585,512
未収金	19,860,369	28,588,403	△8,728,034	1年以内返済予定設備資金借入金	9,320,000	9,320,000	
貯蔵品	260,906	241,930	18,976	1年以内返済予定リース債務	1,406,160	1,406,160	
立替金	123,424	549,017	△425,593	預り金	4,597,668	1,250,542	3,347,126
仮払金	346,117	92,026	254,091	職員預り金	4,210,071	330,579	3,879,492
				賞与引当金	10,400,000	9,899,333	500,667
固定資産	1,033,075,573	1,035,389,245	△2,313,672	固定負債	83,647,760	96,709,884	△13,062,124
基本財産	686,613,378	710,322,735	△23,709,357	設備資金借入金	27,960,000	37,280,000	△9,320,000
その他の固定資産	346,462,195	325,066,510	21,395,685	施設整備借入金	29,646,000	33,654,000	△4,008,000
				リース債務	3,046,680	4,452,840	△1,406,160
				退職給付引当金	22,995,080	21,323,044	1,672,036
				負債の部合計	140,548,742	165,268,481	△24,719,739
				純資産の部			
				基本金	146,550,148	146,550,148	
				1号基本金	127,040,148	127,040,148	
				3号基本金	19,510,000	19,510,000	
				国庫補助金等特別積立金	376,195,386	391,177,994	△14,982,608
				その他の積立金	226,296,400	198,296,400	28,000,000
				修繕積立金	90,000,000	90,000,000	
				備品等購入積立金	5,296,400	5,296,400	
				施設整備等積立金	126,000,000	98,000,000	28,000,000
				設備等整備積立金	5,000,000	5,000,000	
				次期繰越活動増減差額	513,073,616	514,016,444	△942,828
				(うち当期活動増減差額)	27,057,172	44,591,878	△17,534,706
				純資産の部合計	1,262,115,550	1,250,040,986	12,074,564
資産の部合計	1,402,664,292	1,415,309,467	△12,645,175	負債及び純資産の部合計	1,402,664,292	1,415,309,467	△12,645,175

## 研修部会

今年度の研修部会は、法人の事業計画に沿って、職員の資質向上を図る研修、職員の人権意識を高め、支援方法を振り返り人権尊重と虐待防止の徹底を図る研修に取り組む計画で部会がスタートしました。昨年度から約半数のメンバーが入れ替わりとなりましたが、役割を分担して年間7回の研修を企画していく予定にしています。

人権研修や実践交流会、経験年数に応じた研修等、部会担当者自身が「学びたい」「知りたい」「伝えたい」内容のものを考えて進めていきたいと思えます。

構成メンバーは、小野（更生指導所）阿部（つるみの郷）平山（ワークセンター）井原（グループホーム）鎌田（ヘルプセンター）の5名です。

よろしくお願ひいたします。

部会長 井手

## 広報部会

「椿福社会を広く知ってもらうためどの様な広報活動を行ったら良いか」、毎年毎年の課題です。

昨年は、ホームページをリニューアルし、スマートフォンでも見やすいものに作り変えました。それを最大限に活用し、各事業所の活動内容を発信していきたいと考えています。また、法人全体の事業の方針・活動など情報公開も進めていきたいと思えます。

法人ニュース「つばき」も今号で72号となります。ホームページなどインターネット上の媒体には無い、紙媒体の広報誌の良さ、「手に取って広げて楽しめる物」にしていくことができるようアイデアを出し合い作っていきます。

今年度の広報部員は、8面で紹介しています。フレッシュなメンバーで活動していきます！

部会長 大石

## 危機管理部会

### 今年度基本方針

- 事業所で起こった事故や苦情を集約し、未然防止するための方策を法人全体で共有する。
- 研修部会との連携に努め、危機管理部会にあがる身近な事例を題材にした研修を計画する。

危機管理部会メンバーは、担当理事1名、部会長2名、事業所担当4名の計7名で、奇数月の第一木曜日に部会を開催します。

部会では、「再発防止」「ひやりはっから事故への発展防止」に向けて、しっかりと検証していきます。また、事故やひやりはっの背景にあるリスクに気づくことも大切です。そのリスクを事故に結び付けないようにそれぞれの事業での課題を明らかにして対処する方法を検討していきたいと考えています。

7月の会議では、危険を予知する力をつけるために「危険予知訓練」の演習を行います。今後も部会内での研修を企画し事故の未然防止に努めたいと思います。

部会長 松田

## 安全・防災部会

つい最近も大阪で大きな地震が起こり現在も避難生活をしている人がいます。

また、災害が心配な大雨も続いているなどどこで災害に見舞われるか分からない時代になっています。

安全・防災部会は、各施設長を構成メンバーとして、不定期に開催し、様々な天災、人災、緊急対応が必要な状況となった場合を想定して、利用者の安全対策や非常災害時の地域貢献の議論を行います。

施設における利用者の安全対策は施設ごとに立案検討しますが、安全・防災部会ではその内容の共有化を図ります。

地域の茨田東15町会には、非常災害時に地域交流ホールの開放と毛布、水等の備蓄をしている旨の申入れを行っています。今年度は、非常災害時に職員がどのように参集するか、マンパワーの確保を検討していきます。

また、茨田東ネットワーク委員会にも参加して、地域の課題の把握や情報共有に努める予定です。

担当理事 寺谷 博

# 暑さに負けずフルテンション

6月25日(木)鴻池スカイランドで行われた、合同(つるみ更生指導所・つるみの郷・ワークセンターつるみの郷)運動会の取材に行ってきた。

梅雨時期でしたのでずっと天候が気になっていましたが、運動会にぴったりの曇り空。快晴で暑過ぎず競技が出来て良かったと思いつつ、ながら午後の部の見学へ行きましたが、まさかの太陽が顔を出す事態に…風が心地よかったですのでよしとしましょう。

午後一番は『借り物パン取り競争』でスタート位置で出発準備をし、今にも走りだしそうな方、自身の名前を呼ばれて嬉しそうな方、普段と違う利用者の姿に



私まで嬉しくなりました。

借り物では、めがねや帽子など様々なグッズがあり、手に持って走ったり、身につけたりと見ている方も楽しめる競技でした。最後にとったパンは事業所に帰るまでのお楽しみだったようで、名前を書いてもらい嬉しそうにしている姿もありました。

最後は、みんなお楽しみみのダンス♪

一曲目は、おなじみの『エビカニクス』です。



文化祭でも披露しているので自信満々のダンスでした。二曲目は世代を超えて愛されている『Y・M・C・A』手拍子をしたり、右パンチをし続けたり、周りの人たちと向かい合ったり、手を取り



合ったりしながら踊る姿に心打たれました。(鎌田)

## ●利用者さんの声●

風が強かったけど、頑張った!!

運動会楽しかった!!

またやりたい!!



## 広報部員紹介

私達の名前、好きな食べ物を紹介します!!  
今年度一年よろしく願いいたします。

鎌田です。  
作るのは苦手ですが、唐揚げが  
好きです♡



雫  
雫です。  
肉汁たっぷりハンバー  
グが好きです♡



Kumada

小澤です。  
栗が好きなので秋が待ち遠し  
いです♡



林  
林です。  
オムライスが好きですが  
かす汁も大好きです♡



K. OZAWA

藤本です。  
一年中チョコを食べてます♡



Ōtsuki  
大石です。  
いちごが好きです♡



Fujimoto

## 寄付金等

ありがとうございました。

2018年3月～2018年6月

長谷正子様 大前哲彦様

## 【後記】

最近私のマイブームは（この表  
現はもう死語かも（笑））「哲学」と  
いうワードにちょっとハマってい  
ます。

哲学といっても、難しい哲学書  
を読むのではなく、たまたまテレ  
ビのチャンネルをカチャカチャし  
ていると（この表現も今の若い人  
には通じない（笑））Eテレ番組で  
「哲学」の番組をしていて、観て  
いると面白かったのでそれから  
録画をして観ています。

人生の教訓を、抽象的ですが分  
かりやすく解説しています。半世  
紀も生きてきましたが、（これも昭  
和の人しか言わない（笑））人生百  
年時代、まだ半分あったらと思う  
と、迷いだらけのこれからの人生  
の道標なるものを見つけていきたく  
いと思っています。

人生の哲学、福祉の哲学などな  
ど、これからもたくさんの人たち  
と出会い、勉強していきたいと思  
います。○

